

岡山大学文学部平成 21 年度シンポジウム

## 平塚らいてう—日本のフェミニズム運動における彼女の 位置、および「家・婚姻」制度に対する彼女の批判—

平成 21 年 7 月 16 日 (木) 午後 5 時～7 時  
岡山大学文学部会議室 (1 号館 3 階)

### プログラム

- 趣旨説明 : 辻 星児 (岡山大学文学部長)  
基調報告 : クリスティーヌ・レヴィ (ボルドー第 3 大学准教授)  
司会 : 中谷 文美 (岡山大学文学部教授・文化人類学)  
コメンテーター : 新村 容子 (岡山大学文学部教授・東洋史学)  
松本 直子 (岡山大学文学部准教授・考古学)  
沢山 美果子 (岡山大学社会文化科学研究科客員研究員・日本史学)

\*本報告書は、平成 21 年度文学部長裁量経費を得て開催された本シンポジウム録音の文字起こし記録である。

\*口頭の報告あるいは議論であるために、文字化された本報告書では理解がむずかしい箇所もあるが、あえて録音のままにした。もちろん、明らかに不要あるいは追加説明を要する口語表現等は修正した。

(編集担当：永田諒一 岡山大学文学部教授・西洋史学)